

年末年始も感染リスクを避けて慎重な行動を！

京都府内で新たな変異株（オミクロン株）の陽性者が確認され、今後の感染拡大の警戒体制を強めています。

年末年始は、忘年会や新年会など普段会わない人同士での会食や帰省、初詣など、人の動きが活発化することで、普段以上に感染リスクの高まる場面が増えます。

感染リスクの少ない新たな日常を続けていくために、年末年始の感染リスクを避けて慎重な行動をお願いします。

年末年始の感染リスクを避けるために

○会食は「きょうとマナー」を守って！

- ・ アクリル板や換気設備のあるお店を利用
- ・ 食事前、退店時には手指消毒
- ・ 2時間、同一テーブル4人までを目安

※以下は、「新たな日常」の基本的なルール

- ・ 会話の時はマスク着用
- ・ 大声で話さない

※期間：令和3年12月23日から当面令和4年1月15日まで

○帰省や初詣は、混雑する時期を避けて！

○体調を崩さないよう、健康管理を心掛けて！

○感染に不安を感じる無症状者は、検査の受診を！

(特措法第24条第9項)

(参考)

感染リスクの少ない新たな日常を続けていくために

(11月25日第57回本部会議 決定事項)

感染拡大への警戒を続けながら社会経済活動を進める「新たな日常」の基本的なルール

- ① 基本的な感染防止対策を続けてください！
- ② 体調不良を感じたら医療機関に相談してください！
- ③ 外出は感染リスクを避けて慎重に行動してください！
- ④ 飲食機会での感染リスクを減らしてください！
- ⑤ ワクチン接種を希望する方は、積極的に接種してください！